

かけはし



福島市立平田小学校 学校だより No. 9

自分で考え 力を合わせ
夢に向かって 最後まで

子どもとメディア その2

学校のスタンス

基本的に、子どもがメディアに触れることについて、学校は積極的な指導を行わない（行えない）傾向にあります。理由は2つです。

- 1 TV等のメディアに触れる機会は学校外（家庭）が主なので、視聴の仕方等の指導は家庭教育の範疇であるため。
- 2 ゲーム機、タブレット、携帯電話等のメディア端末は学校で一律に購入を要請したものでなく、保護者の判断で購入し子どもに与えたものなので、その使用についての指導の責任は保護者にある。加えて、学校への持込を認めていないため、校外での使用が主であると想定されていることから1と同様に家庭教育の範疇であると考えられるため。

前号でもお伝えしたとおり、文科省は携帯電話の中学校への持込みを条件付きで認める通知を出しました。もし、それが実現するとして、学校は持込み方法については検討しますが、上記の理由から、その使用方法の指導を積極的に行うことは「まずない」と言えます。あくまでもメディアとの接し方は保護者が責任を持って指導すべきもののなのです。

ケータイ、スマホの光と影

ここからは私たちにとって今や最も身近となったメディア端末であるケータイとスマホについて記します。ケータイやスマホは非常に便利な道具であり、現代社会に生きる人たちにとってはなくてはならない必需品といえるでしょう。電話はもちろん、メールを使えば離れている人といつでもコミュニケーションがとれるし、音楽も好きなときに聴けて、暇つぶしにゲームも楽しめる。分からないことがあれば、ネットですぐに調べられるし、世界中の人たちに自分の考えや私生活、趣味や特技を公開し、「いいね」や時にはお金まで稼げちゃう。買い物もできるし、財布や銀行の代わりまでしてくれる。まさに現在の神器といえるでしょう。しかし、これらの利便性が光だとすると、それと同じ位の影の部分も見受けられます。

まず、ケータイ、スマホの使いすぎによる**健康被害**です。視力低下、めまい、肩こり、倦怠感、寝不足によるだるさなどの身体症状のほかに「物事を考えたり、自分の行動をコントロールしたりする、脳の前頭前野という場所の血流量が下がり、働きが鈍くなる」ことによりいつもいらしている、攻撃的になる、無感情になる、不眠に苦しむなどの精神面での症状も報告されています。また、何ととっても恐ろしいのはネット犯罪に巻き込まれることです。平成29年3月6日に発表された政府広報オンライン「スマホ、携帯にご注意を！ネット犯罪の落とし穴」によるとインターネット上の危険として次の4点をあげています。

危険1 子ども**の健全育成に有害な情報が氾濫している**

危険2 **相手の顔が見えない**

危険3 **一度発信した情報は不特定多数の人に広がり、後から削除することはほとんど不可能**

危険4 **インターネットでの情報発信は個人を特定できる可能性がある**

ケータイ、スマホの使い方を誤ると、これらの「危険」が複合し、意図せずに性被害にあったり、誹謗中傷を受けたり、逆にいじめの加害者になったりする可能性があります。便利で生活を楽しくしてくれるはずの機器が子どもの健全な育成を阻害する凶器になりえるわけです。

ケータイ、スマホと上手に付き合うには

来に生きる子どもたちはいずれ否応なくケータイ、スマホ（またはもっと機能が進化した端末かもしれませんが）を使わざるを得ない日がやってきます。保護者の庇護のもとにある時期に手にさせるのであれば、やはり何らかの「ルール」が必要でしょう。最終的にスマホ等の「影」の部分によって子どもに生じた被害（加害）について責任を取るのは保護者です。何の制限もなく、使い方の指導もせず、買い与えるのはあまりにリスクが高すぎます。一方で、ルールをどのように子どもたちと取り交わし浸透させていくか、親の立場から言うと難しいものですね。

スマホを使うための「18の約束」

スマホと子どもをめぐる問題はどうも日本だけのものではないようで、アメリカのマサチューセッツ州に住む母親が13歳の息子にiPhoneをクリスマスプレゼントに贈った際に、同封した手作りの「使用契約書」が全世界で話題になりました。

グレゴリーへ

メリークリスマス！今日からあなたはiPhoneを持つことができます。やったね！あなたは責任感のある利口な13歳なので、このプレゼントはあなたにふさわしいと思います。しかし、このプレゼントを受け取ったからにはそれなりの約束を守ってもらいます。

以下の約束を読んでおいてください。－中略－

- 1 これは私のiPhoneです。私が買って、あなたに貸してあげています。
- 2 パスワードは常に私に報告してください。
- 3 これは電話です。なったらマナーを守って必ず出てください。それがママかパパだったら絶対に出ること。
- 4 学校のある日は午後7:30に、休日は午後9:00にママかパパにiPhoneを渡さない。次の朝7:30までシャットダウンしておきます。友達の親が直接出る固定電話に電話できないような相手ならその人には電話もSNSもしないこと。自分の直感を信じて、他の家族も尊重しなさい。
- 5 iPhoneを学校に持って行ってはいけません。メールでやりとりする相手とは直接会話を楽しみなさい。コミュニケーションは生きる上で大事なスキルです。
- 6 もし、破損や紛失した場合は、修理費用は自己責任です。庭の芝刈りや赤ちゃんの世話、誕生日のお小遣い等でカバーしてください。
- 7 このiPhoneを使って嘘をついたり、人を馬鹿にしてはいけません。ネットいじめに関わるようなこともしてはいけません。人のためになることを第一に考え、喧嘩に参加しないこと。
- 8 人に面と向かっていえないことを、このiPhoneを使ってメールで言わないでください。
- 9 友達の両親の前でいえないようなことをメールでしないこと。
- 10 ポルノは禁止です。私と共有できるような情報をネットで調べてください。
- 11 公共の場では電源を切るか、サイレントモードにしない。
- 12 あなたや他人の下着や裸の写真を送ったり、受け取ったりしてはいけません。
- 13 膨大な数の写真やビデオを撮らないでください。すべてを記録する必要はありません。経験を大切にしてください。
- 14 ときにはiPhoneを家においていきなさい。スマホなしで生活することを覚えてください。スマホを失うことを怖がるようなスマホ依存症になってはいけません。
- 15 今はやりの平凡な音楽だけではなく、クラシックや前衛的な音楽もダウンロードして聴いてください。
- 16 言葉ゲームや難しいパズルを解いて、脳を鍛えなさい。
- 17 あなたの周りで起こることをよく見てください。窓の外をみて鳥の声を聴き、散歩に出かけ、知らない人とも話すようにしなさい。グーグルにばかり頼らないで探し求めなさい。
- 18 問題があるようなら、iPhoneを没収します。そして一緒にそのことについて話し合います。またやり直しましょう。あなたと私はいつも何かを学んでいる。私はあなたのチームメイトです。一緒に答えを出していきましょう。－後略－



内容については異論もありますが、スマホ等の利便性、危険性を十分理解させた上で、子どもに責任を持って利用させようとする保護者の覚悟が見てとれます。参考になさってください。